

「ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞を受賞

株式会社グッドバンカー  
リサーチチーム

三菱 UFJ SRI ファンド<sup>®</sup>（愛称：ファミリー・フレンドリー）は、2005年にデザインの優れたプロダクトに与えられる「グッドデザイン賞」を受賞しておりますが、このたび「ワーク・ライフ・バランス大賞」の“社会の動きに影響を与えた”ワーク・ライフ・バランス推進『貢献活動』部門で優秀賞を受賞いたしました。この賞は、企業や自治体、労働組合など、各界でのワーク・ライフ・バランス推進における取組みの活発化を図ることを目的とし、社会的課題とされる仕事と生活の両立の定着に向けて、積極的な取組みや効果を上げた活動に対し、表彰が行われるものです。財団法人社会経済生産性本部の「次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」が主催し、今年度が記念すべき第1回目となります。

受賞にあたり評価いただいたのは、当ファンドの商品開発と運用における取組みであり、このことはファンドのコンセプトに関心を持ち、投資行動を選択していただいた当ファンドの投資家の皆様も含めての表彰であると、私どもは受け止めております。

先日の表彰式の会場で、株式投資とワーク・ライフ・バランスがつながることを初めて知りました、といったご意見をいくつかいただきました。そもそも投資とは、より良い未来の持続可能な発展を信じたときに可能となる金融行動です。そして、その投資家の行動の積み重ねが資本主義社会の様々な側面を形成していきます。いわば、投資家は未来のあり方を選択し、子供や孫の生きる次世代の社会に何を残すのか、という決定に関与する役割を担っているともいえます。

特に、ファミフレのコンセプトを持つ国内初の SRI ファンドの設定は、人口減少や次世代育成などの社会的課題に対して、ステークホルダーの中でも従業員や地域社会とは異なる改善・解決へのアプローチを持つ、「投資家」を初めて出現させました。そして、企業のファミフレ評価を株式投資に反映させることで、課題に取り組み新しい価値を創出する企業経営を株主の立場から支持し、企業や社会に新しいポジティブな変化をもたらす機会を提供したのは、当ファンドの投資家である皆様です。この投資家の選択による社会への影響力とその可能性こそが、ワーク・ライフ・バランス推進に貢献するものとして評価され、今回の受賞に至ったのではないのでしょうか。

SRI は、何が未来を豊かにするのか、と金融市場を通して問い続けるプロダクトです。世界でまだどの国も経験したことのない、急速な高齢化と人口減少の進む社会が活力を失わず、企業が競争力を維持するには、誰が何を受け止めるべきなのか、どこでどのような方法に効果がみられるのか、そして何よりも、ファミフレを競争力へと進化させる企業のチャレンジや社会の変化について、これからもこのレポート等を通して、投資家の皆様と

もに考えていきたいと思っています。